

築理会 会報

東京理科大学工学部建築学科校友会

2018 Spring vol.61

葛飾キャンパス



2017 OBOG と学生との交流懇親会：葛飾キャンパス

トピックス・イベント

- * 卒業される皆様、ご卒業おめでとうございます。そして、築理会へようこそ。築理会は工学部建築学科卒業生の交流の場です。築理会の行事に参加して、様々な会社の多くの先輩方との交流を楽しみましょう。
 - * 石神一郎氏（1970年卒・二見平野研）が2017年秋の瑞宝小綬章を受賞されました。「刑務所建築について（仮題）」と題して講演会が5/26（土）に開催されますので、是非ご参加ください。（詳細：8P）
 - * 上記講演会と同時に、平成30年度築理会総会・懇親会が5/26（土）に開催されます。（詳細：8P）
- 表紙写真：葛飾キャンパスと「2017 OBOG と学生との交流懇親会」Part1の様子。記事は2P。

CONTENTS

- 2 P 会長メッセージ「築理会名簿と個人情報」
2017 OBOG と学生との交流会
2018 築理会・野田建築会合同新年会
- 3～5 P 特集若手 OBOG 座談会 「建築学科卒業生に求められる新しい職能」
- 6 P 東京2020に向けて
“晴海五丁目西地区第一種市街地再開発事業”
- 7 P 100年後の文化財を目指して
小木曾研 OB 会「1℃ LIFE」
- 8 P インフォメーション
平成30年度築理会総会・講演会・懇親会案内、
新刊紹介、築理会・女子部会 HP 紹介、
編集後記

築理会名簿と個人情報

大岩 昭之 (築理会会長 1968 年卒)

築理会会員の皆様方には少し遅くなりましたが、「平成 29 年版築理会名簿」(2017 年)が届けられたかと思えます(ただし、会費納入の会員対象)。築理会名簿は昭和 46 年(1971 年)に 558 名の卒業生を掲載した最初の名簿が発行されました。46 年後の今回の名簿は 7,776 名が載せられています。

名簿発行に関しましては、昨今難しい問題もあります。平成 27 年 9 月に改正「個人情報保護法」が成立し、平成 29 年 5 月に全面施行されました。「個人情報保護法」は自治会や同窓会等の非営利組織も該当します。当然、「築理会名簿」もこの対象に入っています。この保護法では個人情報の取り扱いに対して、次のようなことが決められています。1) 利用目的の特定、2) 利用目的の通知・公表、3) 名簿の安全管理措置、などです。築理会としては、これらを順守しています。利用目的は「会員名簿を作成し、名簿に掲載される会員に対して配布」です。個人情報の安全管理ですが、築理会事務局としては、十分に安全管理していますが、この件に関しては会員の皆さんも盗難や紛失、又、転売したりしないようにお願いします。

法令では、個人情報は本人の同意がなければ第三者に個人データを提供してはならないとされています。名簿の発行は第三者にデータ提供に該当します。本人から同意を得る手段としては「オプトイン」と「オプトアウト」という方法があります。オプトインは直接同意可否を問いますが、オプトアウトは同意可否を問い、返信がない場合は同意したものとされています。築理会名簿の場合はこのオプトアウト方式を採用し、名簿を作成しています。

名簿は同窓をつなげる最も基本的なものであり、名簿なくしては、同窓会は成立しません。いつまで紙ベースの名簿発行が続けられるかわかりませんが、築理会としては出来るだけ長く続けられればと思います。会員の皆様方も名簿を大いに活用し、同窓の絆を深めていただければと思います。なお、名簿はまだ残部がありますので、会費納入された方にはお送りします。ただし、在庫がなくなれば、配布は終了とさせていただきます。よろしくお願ひします。

先輩は語る

2017 OB・OG と学生との交流会

“2017 OB・OG と学生との交流懇親会”が、平成 29 年 11 月 18 日に葛飾キャンパス研究棟 7F プレゼンテーションルームにおいて開催されました。建築学科のご協力のもと、多くの学生に参加していただきありがとうございました。今回で 4 回目の開催となり、引き続き来年度以降も大勢のご参加をお願いいたします。

Part1“先輩は語る”では、6 名のパネリストより、仕事紹介を中心に、仕事の取り組み方や魅力、楽しさ、家庭と両立する女性の働き方などがプレゼンされました。

Part2“懇親会”では、OB・OG、学生、先生方の多数の参加があり、お酒と高橋研究室のご好意による“おでん”も加わり、例年以上に盛り上がりました。Part1 で足りなかった時間を補うように、学生から OBOG へ積極的な質問が飛び交っていました。



*パネリストの皆さん

坂田典正 (1990 年卒・武井研) (株) 梓設計

「組織設計事務所の仕事(梓設計の場合)」

廣越浩介 (1995 年卒・清水研) 東急建設 (株)

「現場監督の仕事とは」

鈴木敦子 (1997 年卒・倉淵研) エープラス (株)

「家庭と両立する女性の働き方」

鈴木芳典 (2000 年卒・松崎研, 2002 東工大院修了)
TECTONICA INC.

「構造エンジニア(アトリエ)の魅力」

可児宙祐 (2003 年卒・真鍋研) ミサワホーム (株)

「すまいづくり」

渡邊祐介 (2008 年卒・真鍋研) (株) 大林組

「施工管理の楽しさ」

2018 築理会・野田建築会合同新年会

平成 30 年 1 月 17 日に神楽坂 8 号館 2 階食堂において新年会が開催されました。約 60 名が参加され、両会長の挨拶、石神理窓会会長の乾杯で始まり、歓談、先生方のご挨拶、最後は校歌斉唱で大いに盛り上がりました。



新年会集合写真

「建築学科卒業生に求められる新しい職能」 「築理会」若手 OBOG 座談会

2017年12月10日(日)「東京理科大学地域デザインラボ」(神楽坂 龍公亭ビル3階)で、「築理会」若手 OBOG 座談会「建築学科卒業生に求められる新しい職能」が行われた。当日は就職活動前の院生が参加、真剣に聴講し積極的に質問していた。若くしてリアルキャリア、トップキャリアを積んでいる6人のパネリストが、自分達の仕事の取組みから、学生、卒業生(新会員)へのメッセージとして新しい職能について語った。

司会進行：安達功 1986年卒

Q1：これまでの仕事での達成感、やったと思ったこと。

Q2：これからの時代に建築学科卒業生に求められる新しい職能、新しい社会の中でしてみたい仕事。

Q3：その能力を獲得して、10、20年後どんな仕事をしているか。

Q4：学生との質疑回答

吉田 和弘 (2013年卒 伊藤研、2015年 早大院)



早大院：アドルフ・ロース著作集出版、国立近現代建築資料館のアーカイブ整理等に関わる
(株)エクスナレッジ：雑誌「建築知識」「日本の不思議な建物 101」などの他書籍制作を担当

A1：“建築知識 2017年12月号「建築基準法キャラクター図鑑」で、売切れを体験”

定番の建築基準法特集を、法規のハードルを下げるため、擬人化する企画とした。法規の意味をきちんとキャラに置き換える建築出身の自分達の力を再認識できた。

A2：“建築を言葉で伝える”

理科大学を卒業すれば建築のプロとなる。建築出版の立場から見ると、建築の人の使う言葉は外の人に伝わらず、建築業界は思っている以上に閉じている。言葉だけでなくイラストや数式などに置き換えて建築を伝える能力を身に付け磨いてほしい。本質を伝える気持ちを持つことが職能を高めることにつながる。

る。

世の中のことでいえば、例えばウーバーをただタクシーのアプリとせず、都市空間とインフラを取持つものと考えれば、空間的なもの、建築となる。一見空間や建築でないことを、建築の能力で読み解くことが新しい職能につながる。

A3：“建築を翻訳する力”

設計する人や建物を作る人がどれだけ面白い世の中に知ってほしい。出版業界や媒体が変わっても関わってほしい。「翻訳する力」をどこまで磨けていけるか。建築を伝えることが、建築を憧れの職業とすることにつながる。

Q4：建築家が手を伸ばせる領域とはなにか？

ウーバーが良い例。建物より生活に踏み込んだインテリア。リノベーションでは建築と同時にインテリアや生活のデザインが求められる。



日下部 健太 (2013年卒 今本研)



在学中・卒業後：アフリカでの小学校建設プロジェクトに参加
大同工業(株)：住宅建設の施工管理担当、担当物件が神奈川建築コンクール優秀賞受賞

A1：“着工の時のわくわく感”

着工の時のわくわく感。そして完成した時には喜びとともに反省もあり、次は更によいものにしようという意欲が湧く。

A2：“幅広い視野と選択肢を持ちそれを自覚する”
我々は大学に行っているが、純粋に仕事として考えると職人さんの方が実力がある。

大学では学歴や経験や人脈が得られ、中高卒よりできることに広がり得られる。だが一方でその世界に入ったことで視野が狭くなることもある。

自分のいる世界だけでなく視野を広げ多様な選択肢を持つことを自覚して、自分がやりたいものに生かすことが大切だ。

A3：“ものづくりに職人さんとは違う視野を持ちそれを自覚する”

現場の関係者(施主、設計者、施工管理者、職人)が対等な立場で意見を言い合える理想の現場、そのような空気を作っていきたい。

現場の職人の立場を向上させ、サッカーの選手と同じように羨望の的となるような業界にしたい。

Q4：選択肢の幅を広げるとはどのような価値基準に基づいて考えたらよいか？

自分で価値基準を決めるべき。高収入を得たいなら建築に限らず他の仕事を選んだほうがよい。あくまで設計をやりたいならどのような設計をやりたかで行く方向が変わる。

自分はいくわくできる仕事として、現場寄りのものづくり、職人や現場監督を考えた。収入、仕事のわくわく感、プライベートの充実など自分の価値基準で決めたい。



「建築学科卒業生に求められる新しい職能」



左から、吉田、高橋、日下部、提坂、村松、青木、安達

提坂 浩之 (2013年卒 宇野研、2015年院)



在学中：修士1年で構造設計を志望。トウキョウ建築コレクション門脇賞受賞、JIA 修士設計展出展
Arup: 個人住宅、木造教会、空港施設、大学施設、ホール複合施設等の設計を担当。

A 1: “デザイン・構造設計が実現できたこと”

大学プロジェクトで、木造屋根が建築家のデザインだけではまともならず、ジオメトリーのデザイン・構造設計を担当した。形態や力の流れを検討、グラスホッパーで形態形成し応力解析、3Dプリンターで模型作成。社内や発注者へ説明しデザイン・構造設計が実現した。

A 2: “デザインし決定していく力、単純化し本質に目を向ける力、繋げて広げる力”

A1で構造設計業務を70%合理化というニュースがあった。このような技術が当たり前になっても、設計者としてすべきことは、

「デザインし決定していく力」

構造設計はルーチンや単純作業が多い。簡略化や自動化で、全体の構造デザインに注力できる。デザインを決定していく力が必要。

「単純化し本質に目を向ける力」

ネットの中に情報がたくさんあるが、本当に大事な事象が判らず、結果だけで判断している。単純化して本質に目を向けることが大切。

「繋げて広げる力」

建築のことしかわからないスペシャリストが増えていく。自分の範囲を決めず、他の分野にも口を出す生意気な人間になりたい。

A 3: “恐れられながら信頼される、個人として作家性を持った構造設計者になりたい”

スペシャリストではなく全てを網羅する人。施主⇄施工者⇄設計者、意匠⇄構造⇄設備をつなげるキーマンになりたい。

Q 4: 働いていて役に立ったことは何か？

自分のおかれた状況に捕らわれず、どこに行っても自分で壁を作らないこと。できないことは色んな人に聞いて回ること。

高橋 良輔 (2011年卒・理工)



(株)竹中工務店：見積部配属。慶応義塾大学病院(新病院棟1期、2期)、水天宮建設計画の施工管理を担当。

A 1: “担当した建物が竣工した時”

建物外装が完成し足場を撤去した時にかっこいいなと感じた。また建物が完成し実際に使ってもらえたこと、建物竣工後大きな問題が無く稼動していることが喜び。

A 2: “施工力”

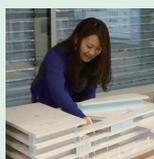
これから設計を志す人が建設業界に入るのに当たって求められるスキルは施工力。大学の授業だけでは施工のスキルは得られない。建物がどう作られるかを大学の授業で学ぶことはないが、建築の納まりや施工手順を知っている人はリードする。

A 3: “QCDS Eを管理して所長を目指す”

施工力だけでなくQCDS E*すべてが管理できてはじめて所長になれる。施工現場は施工と設計が丸となって動く。C、Dの面も考える設計者は強い。
* Quality (品質)、Cost (工事原価)、Delivery (工程・工期)、Safety (安全)、Environment (環境)

「築理会」若手 OBOG 座談会

村松 秀美 (2010 年卒 宇野研、2012 年院)



在学中：築理会賞受賞 (株) 日建設計：中国蘇州、杭州の超高層タワー及び複合施設の設計担当 (株) インターオフィス：Vitra 等の家具輸入及びテナント内装設計担当、(株) 日建設計：再入社

A 1：“姿かたちの無い絵が現実世界に建ち上がること” “喜びを発注者と設計チームとで共有できること”

私達が担当したオフィスタワーは高さ 200m の超高層。しかし隣接地には高さ 400m のものが計画されていた。高さ勝負が出来ないという逆境から発想を転換し、アイレベルからのインパクトで勝負する事を思いついた。タワー外装が下部でスカートの様にふわっと広がり、低層商業の大屋根へと繋がるデザインを提案。遠慮のない 3D 曲面多用の設計に、当初上司からは施工精度の不安を指摘されたが『未だ見た事の無いものを作る！』という気持ちに火が点き、仲間と抵抗。打合せを重ね、上司の GO サインをもらい、発注者にも採用された。その後インターオフィスへと転職し、エンドユーザーの声を聞きながら建築の内側からのデザインを学んだ。その経験を活かし日建設計に再入社。担当していたオフィスタワーの内装設計を担当している。竣工は今年の年末。完成の喜びを皆で共有する瞬間が待ち遠しい。

青木 公隆 (2006 年卒 鈴木研、2008 年院)



(株) 日本設計：海外や国内の設計監理を担当。海外 ODA プロジェクトで建築の社会的意義を考える。東京理科大学元補手、東京芸術大学元助手。(株) ARCO Architects：代表取締役。住宅、病院等設計のほか、空き家利活用を通して建築から都市スケールの節点で活動。

A 2：“建築を自分のこととして考える”

日本設計では設計を専門や職業と考えていた。独立後は建築家を専門家とせず、建築を仕事と定義しない。自分を自由に振舞うことで社会と節点を増やす。建築を生活の一部、自分のこととして考える。人口減少はチャンス。バブルの頃と違い都市や建築をゆっくり考えられる。少人数の事務所でも、事務所から 1 km 圏内の空き家や人材で街を動かす時代が来る。

A 2：“好きを分析する力、嫌いの先を見る力、言葉にする力”

「好きを分析する力」

自分が好きなものを否定される事もあると思う。なぜ好きなのか客観的に考え分析する力を持てば創造したい形を相手に分かりやすく伝えられる。例えば手元にあるペットボトルを分析してみよう。

「嫌いの先を見る力」

嫌いな事でも、若いうちに経験できて良かったと思える時が来る。自分はどこが嫌いだからどう改善すべきか、理由を述べられたらスマート。

「言葉にする力」

若者は SNS などにアウトプットするのは得意だが現実世界ではどうか？「やりたい事は言葉にしなくても皆判ってくれる」という事は、無い。言葉にして、上司や顧客に届いて、現実世界のものになる。建築学科卒の人は言語化が得意なはず。「言葉にする力」が建築家に必要な職能。

A 3：“恐れ知らずで言葉にする力を発揮し、挑戦的に建築設計の仕事が続けて行きたい”

社会人 1 年目の頃と 6 年目の今では 3D モデルや映像でのプレゼンテーションが飛躍的に向上している。向こう 20 年で、1 人で街ひとつを作れる世界が来るかもしれない。その世界が来ても、一線にいられるよう、恐れ知らずで言葉にする力を発揮し、何事も挑戦的に建築設計が続けて行きたい。

A 3：“空き家利活用で街全体を変えていく”

自宅から職場までの沿線の街を 10 年間で変える。

Q 4：個人事業主になるということは？

すべて自分の責任なので自由に振舞える。建築家として何が出来るか考える時間がある。ただ食えなくなるので準備が必要。個人事業者が増えれば、受身ではなく能動的になり街が豊かになる。

Q 4：一歩目のキャリアはどうしたらいいか？

今思っていることに失敗を恐れずトライ、自分を信じてキャリア選択してほしい。

Q 4：建築家は都市にどうコミットできるか？

建築家のコミットはいろんな仕方がある。今古民家を事務所にしていて、ピアノ、キッチンやアートのシェアスペースを設け、こどもや NPO の人が集まる。街へのコミットの接点としている。



安達さんから座談会の意味付けに紹介されたリンダグラットン「ワークシフト」の中に、職業生活を充実させるには、高度な専門知識・技術の継続習得、友人・人脈の形成、所得・消費ではなく創造的で質の高い経験が大切としている。パネリストが指摘したことはまさにこのことだ。

宇野教授には、テーマ設定、パネリスト選定、会場提供と設営、院生の聴講招集等大変ご協力頂きました。

企画：大岩昭之 (写真)、安達功、伊藤学、近藤剛啓 (記事)



前列左から、安達、青木、梶坂、村松、日下部、吉田
後列左から、宇野研院生、宇野教授

東京2020に向けて “晴海五丁目西地区第一種市街地再開発事業”

ここは、今話題の築地と豊洲にはさまれた晴海五丁目西地区です。東京でもかなり早い時期（昭和4）に埋立てが完了しました。かつては東京国際見本市会場があり、東京モーターショーやエレクトロニクスショーを見に来られたという年齢の方も多くいるのではないのでしょうか。

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピック競技大会の選手村は、大会の地理的な中心に位置するこの晴海地区に整備されます。

平成28年3月に「東京2020大会後の選手村におけるまちづくりの整備計画」が策定され、大会後のまちづくりの方向性が提示されました。そして4月には、「晴海五丁目西地区第一種市街地再開発事業」として、選手村の整備と大会後のレガシーとなるまちづくりが始まっています。まずは各国からトップアスリートを迎え入れるため、良好な環境を整備します。その後も、大会開催のレガシーとして、快適で豊かな都市生活を営むことができる、そして誰もが住んでみたいと思えるまちを実現するために、持続可能な熟成都市のモデルとして整備が進められています。

対岸に位置する豊洲市場のオープンも今年の10月11日と仮決定し、周囲の地域での動きも活発になってきました。

そのような中で、建築的には施工会社4社（三井住友建設・前田建設工業・長谷工コーポレーション・東急建設）が工事に携わり、日々作業を進めています。国を挙げての再開発事業ということもあり、関係する団体・行政も多く、様々な問題を解決しながら、少しずつ進んでいるという状況です。

平面計画的には、全体を五つのブロックに分け、四つの住宅街区とひとつの商業街区、そしてそれらをつなぐ道路や埋設インフラ工事というように整理されます。しかしながら、一番のポイントは2020年のオリンピック・パラリンピックに向けて、2019年末までに選手村として完成させることです。そして2020年のオリンピックイヤーを経た後、

2021年より内装解体して本来の分譲・賃貸住宅として正式に完成させるということになります。多くの部分は2022年9月に引渡ですが、2本のタワー棟の引渡は2024年3月になります。全工期は足掛け8年という建築としては、異例の長さになります。

そのような中で、5-3街区を担当する東急建設街区では、東京理科大の卒業生が4名おりますので紹介させていただきます。だいぶん年季の入った浦山千明（1981年工学部平野研卒）さん。今や旬の現場のエースである林丈晴（2004年理工学部大宮研卒）さん。そして私こと、昨年入社ピカピカの1年生である山田雄大（2017年工学部今本研卒）、最後に施工図を担当していただいている中西計画事務所の中西亮司（1981年工学部鈴木研卒）さんです。



施工会社以外も、担当するデベロッパー・設計事務所様がいくつかのグループに分かれてプロジェクトを進めています。今後は他の街区の方々にも声を掛け、晴海五丁目地区の会合ができれば良いと考えています。全体のコミュニケーションを大切に、まずは2020年のオリンピック・パラリンピックに向けて、全力で取り組んでいきたいと思えます。

皆様、どうぞご期待ください。（山田記）



基礎杭に、新たな価値を創造する。

昭和48年工学部建築学科 代表取締役 三輪 富成
平成5年工学部建築学科 技術本部長 小林 俊夫

株式会社 三誠
SANSEI INC.

Tel: 03-3511-0211 Fax: 03-3551-0217 Mail: info@sansei-inc.co.jp
〒104-0033 東京都中央区新川1-8-8 アクロス新川ビル9F

北海道営業所 / 東北営業所 / 新潟営業所 / 北陸出張所 / 北関東営業所 / 茨城営業所 / 千葉出張所 / 神奈川出張所 / 関西営業所 / 中国出張所 / 九州営業所 / 沖縄営業所

SANSEI Holdings, inc.

空気の方で振動を断つ。
エア防振フロア
(特許第590331号)



株式会社 三誠 AIR断震システム
http://www.airdانشin.jp/

究極の振動対策

建物の階層を隔てるコンクリートスラブと床の間に気密空間を設け、空気のクッションを作ります。振動の強弱に応じて空気圧をコントロールし、常に床全体を空気で浮揚させているため、振動が構造躯体に伝わりません。

エア断震システム 検索

100年後の文化財を目指して

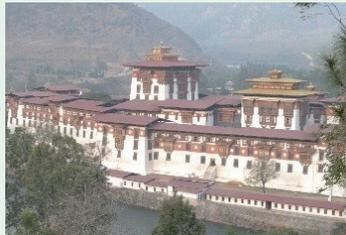
高橋 直子 (1989年卒) (株) 伝統建築研究所



↑高橋さんご夫婦

大学を卒業して早30年が過ぎました。その間、組織事務所、海外青年協力隊、宮大工のもとで修行を経て、現在の設計事務所を引き継いだのが16年前になります。

海外青年協力隊ではブータンに建築隊員として派遣され、17世紀に建てられた現役の寺院・行政庁舎である城の修復現場や実測調査を、のんびりとしたペースで行って来ました。



↑ブータンの城

帰国後はブータンで目覚めた「日本文化を形にする」社寺建築や文化財修復の仕事をするために、社寺専門の工務店で現場・設計修行に励みました。

大学院で学んだ日本建築史が役に立つ世界に、期せずして飛び込んだことになります。学生時代の調査図面を思い起こしては「あの実測図は間違っていたな」と反省することにもなりました。

その後、現在の事務所を引き継ぎ、毎日社寺建築や文化財調査・修理の現場監理や、お客様との打合せ、設計と宮城県内のみならず、東北を中心に走り廻っております。近頃は文化財修理の調査・設計も増え、100年以上前の設計者のデザイン力の高さに圧倒され、また職人の技術力と知恵を知る機会に恵まれています。

これまで様々な失敗を繰り返しながらも、細々と事務所を運営し続けていられるのは、「多様性」が求められる時代にありながら、限定的な分野での専門性を高めてきたからではないか、と考えています。これからも、日々研鑽を積み、100年後の文化財を目指す仕事に取り組みたいと思っています。



小木曾研OB会「1¢ LIFE」

小木曾研のOB会が2017年10月21日(土)午後12時30分から「アズーリ神楽坂」で開催されました。会の名称を「1¢ LIFE」に決め、定例化して5回目になります。

小木曾研は4期から7期までの4年間で卒業生は少ないのですが、16名が参加しました。幹事黒柳さんから、参加できなかった方の近況などが報告された後、各自、近況や今後やりたいことなどを報告し合いました。その後、楽しく歓談し、あっという間の2時間でした。

来年は10月20日(土)に皆、元気で再会することを決定し、散会となりました。今回、参加できなかったOB、OGの皆様、参加をお待ちしております。(小嶋美行 1971年卒)



1級建築士試験

No.1

全国

ストレート合格者占有率
合格者占有率

1級建築士を1年で取得
するなら総合資格学院

平成29年度 1級建築士 設計製図試験

全国 ストレート合格者占有率 **70.7%**

全国ストレート合格者 1,564名中
総合資格学院年度受講生 1,105名
＜平成29年12月21日現在＞

平成30年度 全国ストレート合格者全員を **100%** ストレート合格者として
目標 総合資格学院現役受講生で!

東京理科大学 平成29年度 卒業生合格者108名中当学院当年度受講生70名 合格者占有率 **64.8%**

※全国合格者数および卒業生数等は、(公財)建築技術教育普及センター発表に基づきます。
※総合資格学院の合格実績には、受験試験のみの受験生、教材購入者、契約の投資環境者、過去受講生は一切含まれておりません。

総合資格学院

全国約90拠点

学院長: 岸 隆司

柏校 TEL.04-7168-9111

総合資格 検索 Facebook「総合資格」で検索

スクールサイト www.shikaku.co.jp

コーポレートサイト www.sogoshikaku.co.jp

法定講習 実施中

一級・二級・木造建築士定期講習 / 管理建築士講習 / 第一種電気工事士定期講習 / 監理技術者講習 / 宅建登録講習 / 宅建登録実務講習

開講講座

1級・2級 建築士/建築施工管理/土木施工管理/管工事施工管理/構造・設備設計1級建築士/宅建士/インテリアコーディネーター/建築設備士

平成 30 年度 築理会総会・講演会・懇親会

日時：平成 30 年 5 月 26 日（土）

総会：14:30～15:10

講演会：15:20～16:40

懇親会：17:00～19:00

会場：

総会・講演会：1号館 17階講堂

懇親会：PORTA 神楽坂 6階

理窓会倶楽部

講演：石神一郎氏

「刑務所建築について（仮題）」



略歴

1970年卒（二見平野研）

2007～2011年築理会会長

2014～理窓会会長

2017年秋

瑞宝小綬章を受賞

会費：総会・講演会は無料

懇親会に出席される方は 4000 円

出欠：振込用紙または下記メール

Mail: chikurikai@gmail.com

築理会・女子部会のホームページをご覧ください

◆築理会—東京理科大学工学部建築学科同窓会ホームページ

<http://www.chikurikai.org/>

築理会報のバックナンバー、改正した築理会会則、イベントの詳細情報などがご覧になれます。

◆築理会女子部会ホームページ

<http://tus-alumni.risoukai.tus.ac.jp/network/chikurikai-women>

築理会女子部会は、東京理科大学建築学科同窓会の女子部会です。イベント・懇親会などを随時企画しておりますので、是非、メールアドレス、facebook をご登録ください。



2018 新年会で挨拶するメンバー

編集後記

先輩から卒業生（新会員）へのメッセージとして「建築学科卒の新しい職能」座談会を開催、特集とした。働き方、技術・デザイン、ビジネスが変わっていく時代に大切にすべきことは何か？若い人にもベテランの人にも刺激になる内容になったかと思えます。今後とも多くの方に楽しんでいただける話題を取り上げていきます。（近藤剛啓）

編集長：近藤 剛啓

編集委員：大岩 昭之、天神 良久、野田 正治、飯山 道久、荒井 眞一郎、浦山 千明、森 清、伊藤学、安達功、高橋 潤子、三浦 博範、栢木 まどか
誌面構成：天神 良久、林 利也

平成 30 年度会費納入のお願い

現在、平成 30 年度の会費納入をお願いしております。同封の振込用紙にてお振り込み下さい。今後のさらなる築理会発展のため、多くの方のご協力をお願いします。

昨秋平成 29 年度版会員名簿が発行されました。

在庫のゆるす限り、会費を納入された方にお送り致します。

年会費 3,500 円

加入者名 築理会

口座番号 郵便局 00110 - 5 - 171952

インフォメーション

*新刊紹介

野田正治著『虚構の蘇我・聖徳—

我は聖徳太子として蘇（よみがえ）る』

出版社：鳥影社（2018年1月）

定価：1,800 円（税別）



飛鳥時代から奈良時代にかけて大阪平野や奈良盆地に造られた主な建造物（古墳を含む）の位置は測量されて決められ、「見えない軸線」で結ばれている。そこから、物理的に『日本書紀』を検証できる基盤を得ることができ、本の表題が可能となったのです。

野田正治（1970年卒）

*ホームページ、ギャラリーは作品（建築）発表の場です。皆さんの作品をお寄せ下さい。（事務局）

*今年（平成 30 年）のホームカミングデーは、10 月 28 日（日）神楽坂キャンパスで行われます。

*築理会の主なイベント予定

9 月 会報秋号の発行

教員 & 築理会役員交流懇親会

11 月 OB・OG と学生との交流会

りぼん出版（支援）

2019 年 1 月 築理会・野田建築会合同新年会

2 月 築理会賞の審査会（3 月表彰）